

## 令和5年度 昭和館運営事業の実施状況について

(令和6年1月末日現在)

## 1 昭和館入場者状況

## (1) 総入場者数

130,926人(4年度同期 118,234人 対比10.7%増)  
なお、平成11年度以降の入場者総数は、6,717,264人となった。

## (2) 各展示室等の入場者内訳

	令和5年度入場者数 (令和5年4月～令和6年1月)	令和4年度同期入場者数 (令和4年4月～令和5年1月)	対比
ア 常設展示室	48,717人	41,168人	18.3%増
個人有料入場者	21,870人	18,757人	16.5%増
団体有料入場者	21,971人	18,359人	19.6%増
無料入場者	4,876人	4,052人	20.3%増
イ 映像・音響室	22,507人	15,938人	41.2%増
ウ 図書室	10,055人	7,753人	29.6%増
エ 特別企画展	37,265人	43,209人	15.9%減
オ ニュースシアター	12,382人	10,166人	21.7%増
計	130,926人	118,234人	10.7%増

令和5年度 昭和館利用状況(令和6年1月31日現在)

A													B		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計		昨年度同月累計	A-B	
常設 展示室	65歳以上	208	326	230	227	409	255	381	388	122	2,811	個	1,736	1,075	
	大人	916	1,303	910	1,251	2,034	1,163	1,136	1,312	541	11,668	大人	9,459	2,209	
	高・大学生	123	278	211	298	372	184	198	211	201	89	高・大学生	2,161	4	
	小・中学生	358	372	361	503	634	175	210	334	515	394	小・中学生	4,279	-423	
	ぐるっとバス	75	183	142	172	185	144	132	160	121	56	ぐるっとバス	1,122	248	
	小計	1,680	2,462	1,854	2,451	3,634	1,921	2,057	2,405	2,204	1,202	小計	18,757	3,113	
	遺族会	0	0	0	70	28	0	75	126	29	37	遺族会	142	223	
	大人	13	83	83	88	97	29	153	134	115	14	大人	761	48	
	高・大学生	138	84	84	81	5	22	113	44	29	0	高・大学生	155	445	
	小・中学生	617	2,416	3,513	2,057	296	1,669	1,171	3,506	3,241	1,711	小・中学生	17,301	2,896	
小計	768	2,583	3,680	2,296	426	1,720	1,512	3,810	3,414	1,762	小計	18,359	3,612		
中計(ア)	2,448	5,045	5,534	4,747	4,060	3,641	3,569	6,215	5,618	2,964	中計(ア)	37,116	6,725		
招待券	576	265	403	241	937	163	167	321	297	166	招待券	3,018	518		
未就学児	19	31	14	21	42	22	9	30	19	8	未就学児	234	-19		
身体障害者等	153	112	91	110	174	108	98	146	92	41	身体障害者等	800	325		
小計(イ)	748	408	508	372	1,153	293	274	497	408	215	小計(イ)	4,052	824		
計①(ア)+(イ)	3,196	5,453	6,042	5,119	5,213	3,934	3,843	6,712	6,026	3,179	計①(ア)+(イ)	41,168	7,549		
大人	1,246	1,571	1,328	1,583	2,604	1,523	1,349	1,693	1,357	1,361	大人	12,275	3,340		
高・大学生	57	49	80	60	79	26	60	51	19	21	高・大学生	477	25		
小・中学生	192	616	795	864	652	419	296	1,007	605	944	小・中学生	3,186	3,204		
計②	1,495	2,236	2,203	2,507	3,335	1,968	1,705	2,751	1,981	2,326	計②	15,938	6,569		
大人	646	708	663	799	1,347	844	650	743	732	767	大人	6,079	1,820		
高・大学生	46	62	67	36	53	48	69	56	40	44	高・大学生	422	99		
小・中学生	71	104	207	170	263	216	98	99	101	306	小・中学生	1,252	383		
計③	763	874	937	1,005	1,663	1,108	817	898	873	1,117	計③	7,753	2,302		
特別企画展④	9,706	3,758	3,497	2,862	7,321	1,115	94	88	8,735	89	特別企画展④	43,209	-5,944		
ニューズシター⑤	611	1,087	1,040	1,169	2,187	1,144	1,062	1,614	1,281	1,187	ニューズシター⑤	10,166	2,216		
合計①+②+③+④+⑤	15,771	13,408	13,719	12,662	19,719	9,269	7,521	12,063	18,896	7,898	合計①+②+③+④+⑤	118,234	12,892		

令和5年度 特別企画展・巡回特別企画展等入場者状況

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特別企画展「時代をまとう女性たち」(仮称) 3/11～5/7(イベント含)	4,564 (イベント48)	1,998											6,562
「子どもたちの戦中・戦後」(写真展) 3/18～5/7	5,126	1,675											6,801
特別企画展「歴史探偵団 半藤一利」 7/15～9/3(イベント含)				2,763 (イベント82)	7,264 (イベント39)	1,040							11,067
「子ども震ヶ関見学デー」昭和館のホームページ「キッズナビ」へリンクすることで参加協力 8/～8/													0
定期語り部講話・3館合同開催講話会	16	14	24	18	57	28	94	20	27	20			318
紙芝居定期上演会													
紙芝居定期上演会		71		81		47		68		69			336
教員のための博物館体験(中止)													0
秋の写真展(中止)													0
SPLコード鑑賞会									40				40
特別企画展「くらしにみる昭和の時代 奈良展」 (奈良県)6/15～6/24			3,473										3,473
昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館3館連携 企画展「くらしにみる昭和の時代 宮城展」 (宮城県)12/9～12/19									8,668				8,668
特別企画展「昭和を駆け抜けた超特急～燕 (つばめ)、そして新幹線へ～」 3/9～5/6													0
「失われゆく昭和の仕事 一戦中・戦後の街頭 風景一」(写真展) 3/12～6/30													0
合 計	9,706	3,758	3,497	2,862	7,321	1,115	94	88	8,735	89	0	0	37,265

昭和館入場者状況の推移(平成11年度～令和5年度)

	常設展示室						映像・音響室	図書室	特別企画展	ニュースシアター	総計
	大人	高校・大学生	小・中学生	ぐるっとバス	無料	合計					
平成11年度	84,620	2,479	3,737	-	-	90,836	19,398	31,142	-	176,612	
平成12年度	40,457	1,973	10,186	-	2,914	55,530	16,370	24,112	-	123,673	
平成13年度	36,830	2,396	19,739	-	3,610	62,575	20,616	33,903	65,124	221,084	
平成14年度	29,847	3,373	19,710	-	4,016	56,946	20,622	26,204	112,402	255,460	
平成15年度	28,802	2,725	22,713	-	5,235	59,475	19,072	28,953	115,594	257,422	
平成16年度	29,862	3,140	27,162	-	5,592	65,756	19,573	26,920	112,164	257,459	
平成17年度	30,288	2,596	29,502	-	6,265	68,651	19,449	35,611	124,259	283,386	
平成18年度	28,407	2,919	25,504	-	6,363	63,193	18,465	35,848	125,484	272,215	
平成19年度	26,845	3,611	27,519	-	7,605	65,580	17,617	66,280	133,564	315,724	
平成20年度	23,469	3,245	31,847	-	6,082	64,643	17,270	45,719	119,418	279,151	
平成21年度	20,997	2,412	28,736	2,540	6,059	60,744	19,898	40,627	115,523	266,579	
平成22年度	21,076	2,605	28,051	2,102	5,194	59,028	19,011	53,423	105,242	265,092	
平成23年度	18,400	3,347	24,067	1,815	4,868	52,497	19,130	55,293	88,989	244,319	
平成24年度	19,340	2,644	24,419	1,662	5,206	53,271	20,984	83,568	99,329	290,244	
平成25年度	20,952	3,173	24,932	1,636	6,284	56,977	22,013	68,427	126,225	306,295	
平成26年度	20,367	3,225	33,335	1,884	8,524	67,335	22,523	104,753	138,008	370,311	
平成27年度	28,362	3,689	34,660	2,559	7,667	76,937	20,499	163,928	226,440	525,056	
平成28年度	21,932	3,264	33,706	1,913	4,461	65,276	18,781	95,210	143,326	353,600	
平成29年度	23,737	3,152	44,970	1,795	5,091	78,745	21,449	149,538	174,407	462,249	
平成30年度	24,890	4,060	34,244	1,818	5,572	70,584	17,626	141,383	156,586	417,355	
令和元年度	22,094	3,227	30,812	1,730	4,655	62,518	14,095	115,478	121,684	346,060	
令和2年度	8,117	805	3,792	661	1,695	15,070	4,573	33,389	7,966	71,114	
令和3年度	8,714	1,366	10,939	848	2,047	23,914	5,832	31,583	8,888	82,463	
令和4年度	14,955	2,728	26,768	1,361	4,638	50,450	9,351	52,320	12,055	143,415	
令和5年度 「令和6年1月31日現在」	15,653	2,765	24,053	1,370	4,876	48,717	10,055	37,265	12,382	130,926	
合計	649,013	70,919	625,103	25,694	124,519	1,495,248	434,272	1,580,877	2,445,059	6,717,264	

昭和館入場者状況の推移(平成11年度～令和5年度)

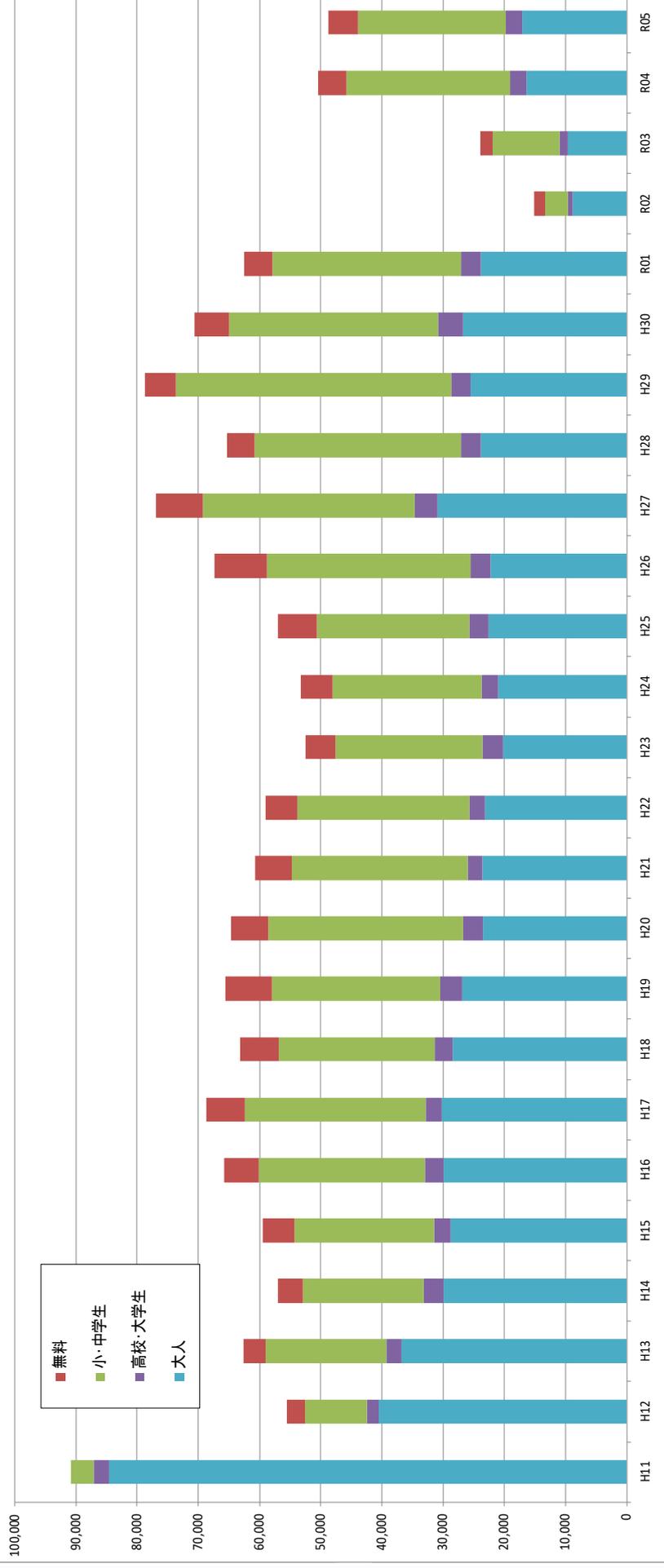
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	合計
常設展示室	90,836	55,530	62,575	56,946	59,475	65,756	68,651	63,193	65,580	64,643	60,744	59,028	52,497	53,271	56,977	67,335	76,937	65,276	78,745	70,584	62,518	15,070	23,914	50,450	48,717	1,495,248
映像・音響室	35,236	27,661	38,866	39,286	34,328	35,046	35,416	29,225	32,683	32,101	29,787	28,388	28,410	33,092	32,653	37,692	37,252	31,007	38,110	31,176	32,285	10,116	12,246	19,239	22,507	761,808
図書室	19,398	16,370	20,616	20,622	19,072	19,573	19,449	18,465	17,617	17,270	19,898	19,011	19,130	20,884	22,013	22,523	20,499	18,781	21,449	17,826	14,095	4,573	5,832	9,351	10,055	434,272
特別企画展	31,142	24,112	33,903	26,204	28,953	26,920	35,611	35,848	66,280	45,719	40,627	53,423	55,293	83,568	88,427	104,753	163,928	95,210	149,538	141,383	115,478	33,389	31,583	52,320	37,265	1,580,877
ニュースシアター	-	-	65,124	112,402	115,594	112,164	124,259	125,484	133,564	119,418	115,523	105,242	88,989	99,329	126,225	138,008	226,440	143,326	174,407	156,586	121,684	7,966	8,888	12,055	12,382	2,445,059
総計	176,612	123,673	221,084	255,460	257,422	257,459	283,386	272,215	315,724	279,151	266,579	265,092	244,319	290,244	306,295	370,311	525,056	353,600	462,249	417,355	346,060	71,114	82,463	143,415	130,926	6,717,264



※令和5年度は令和6年1月31日現在の数字。

昭和館入場者(常設展示室)状況の推移(平成11年度~令和5年度)

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	合計
常設展示室	84,620	40,457	36,830	29,847	28,802	29,862	30,288	28,407	26,845	23,469	23,537	23,178	20,215	21,002	22,588	22,251	30,921	23,845	25,532	26,708	23,824	8,778	9,562	16,316	17,023	674,707
大人	2,479	1,973	2,396	3,373	2,725	3,140	2,596	2,919	3,611	3,245	2,412	2,605	3,347	2,644	3,173	3,225	3,689	3,264	3,152	4,060	3,227	805	1,366	2,728	2,765	70,919
高校・大学生	3,737	10,166	19,739	19,710	22,713	27,162	29,502	25,504	27,519	31,847	28,736	28,051	24,067	24,419	24,932	33,335	34,660	33,706	44,970	34,244	30,812	3,792	10,939	26,768	24,053	625,103
小・中学生	-	2,914	3,610	4,016	5,235	5,592	6,265	6,363	7,605	6,082	6,059	5,194	4,888	5,206	6,284	8,524	7,667	4,461	5,091	5,572	4,655	1,695	2,047	4,638	4,876	124,519
無料	90,836	55,530	62,575	56,946	59,475	65,756	66,651	63,193	65,580	64,643	60,744	59,028	52,497	53,271	56,977	67,335	76,937	65,276	76,745	70,584	62,518	15,070	23,914	50,450	48,717	1,495,248
総計																										



※令和5年度は令和6年1月31日現在の数字。

## 2 広報活動の実施状況

### (1) 昭和館事業のPR活動等

昭和館事業内容のPRのため、東京メトロ九段下駅4出口、東西線2番ホーム、半蔵門線3番ホームの電飾掲示板に掲示し事業内容のPR活動を行った。

さらに、東京メトロ・東京都交通局一日乗車券特典ガイド「ちかとく」、JTBや千代田区等のガイドブック、毎月発行される千代田区報等に当館の紹介記事を掲載した。

その他、読売新聞、東京新聞、産経新聞、毎日新聞、日本教育新聞等に広報記事を掲載した。

### (2) 広報資料の送付等

ア 資料8頁の広報活動状況のとおり、「昭和館館報」については、令和5年8月に都道府県、政令指定都市、教育委員会、東京特別区、全国の老人クラブ連合会、各省庁図書館等に対して送付した。なお、都道府県遺族会、類似施設、大学図書館等には「昭和のくらし研究」も併せて送付した。

イ 令和5年6月上旬に全国の公立小・中・中等教育学校に「昭和館だより第40号」を送付した。

ウ さらに、全国の公立中・中等教育学校へ貸出キットのチラシを送付し周知を図った。

エ 上記とは別に令和5年5月に23区・9市の校長会を訪問し「昭和館だより39号」「貸出キット」「昭和館パンフレット・リーフレット」「次世代の語り部講話派遣」のチラシを配付し、令和5年8月上旬に千代田区の小学校の全校生徒、千代田区を除く22区と9市の小学校5年生に「昭和館だより第40号」を送付した。

さらに、11月下旬までに来館した中学校と高等学校に対して、「中学生・高校生ポスターコンクール」のチラシを送付した。

オ また、全国および東京都小学校社会科研究会で「昭和館だより40号」「貸出キット」「作文コンクール」「次世代の語り部講話派遣」のチラシを配付した。

### (3) 「昭和館だより」の発行

昭和館の活動を学校等に随時伝えるため、「昭和館だより第40号」を、令和5年5月に発行し、(2)に記載した教育関係機関に発送した。

### (4) 昭和館の刊行物の発刊

ア 令和4年度の昭和館の活動状況をまとめた「昭和館館報」(第24号)を令和5年7月に発刊した。

イ 「昭和のくらし研究」(第22号)を令和6年3月に発刊予定。

# 広 報 活 動 状 況

## 1 地方公共団体等への「昭和館館報」「昭和のくらし研究」の送付

広報対象機関名	館報24号	昭和のくらし研究21号	実施日
都道府県	47	—	2023年 8月
政令指定都市	20	—	
教育委員会	240	—	
東京特別区	23	—	
都道府県遺族会	47	47	
全国の老人クラブ連合会	60	—	
類似施設	307	311	
資料寄贈者(個人:63、団体:50)・オーラルヒストリー関係者(7)	120	—	
大学図書館等	173	201	
遺族会・運営専門委員会・国会図書館・各省庁図書館	30 ※	2 ※	

※国会図書館には各2冊

## 2 全国の学校等への広報資料の送付

広報対象機関名	学校数等	学校向け広報誌 「昭和館だより40号」	貸出キットのチラシ	実施時期
全国の公立小学校	19,500	19,500	19,500	2023年 6月
全国の公立中・中等教育学校	10,300	10,300	10,300	
千代田区内の公立小学校	8	3,550 (全校生徒)	8 (1校×1枚)	
東京都の校長会等で配布依頼した小学校	1,053	105,180 ※5年生・千代田区を除く	1053 (1校×1枚)	
小学校来館校(2022年)	150	3,000 (1校×20部)	—	
中学校来館校(2022年)	73	1,460 (1校×20部)	—	

広報対象機関名	学校数等	学校向け広報誌 「昭和館だより40号」	中学生・高校生 ポスターコンクール	実施時期
中学校 (来館ほか)	174	1,740 (1校×10部)	6,960 (1校×40枚)	2023年 11月
高等学校 (来館ほか)	70	700 (1校×10部)	2,800 (1校×40枚)	

広報対象機関名	学校数等	学校向け広報誌 「昭和館だより40号」	貸出キット のチラシ	語り部講話派遣 のチラシ	作文コンクール のチラシ	実施時期
東京都小学校社会科研究会 (夏季研修会)	150	150 (1校×1部)	150 (1校×1枚)	150 (1校×1枚)	150 (1校×1枚)	8月17日
東京都板橋区小学校社会科研究会	50	50 (1校×1部)	50 (1校×1枚)	50 (1校×1枚)	50 (1校×1枚)	10月11日
全国小学校社会科研究会	600	600 (1校×1部)	600 (1校×1枚)	600 (1校×1枚)	600 (1校×1枚)	11月9日

### 3 新聞記事、広告媒体への掲載

広報媒体	掲載	方法	内容	実施時期	備考
WEB	東京観光GOTOKYO (東京観光財団)	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	ちかとく	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	千代田区観光協会HP	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	JAF	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	JNTO (日本政府観光局)	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	Japan Sports Joumey (東京観光財団)	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
ガイドブック	東京観光バリアフリー情報ガイド (日・英)	紹介記事	昭和館の案内	2024.3月発行	無料
ガイドブック	「博物館」完全版	紹介記事	昭和館の紹介	2023.3月発行	無料
ガイドブック	「散歩の達人」MOOK東京散歩地図	紹介記事	昭和館の案内	2023.4月発行	無料
ガイドブック	地球の歩き方東京	紹介記事	昭和館の案内	2023.秋発行	無料
ガイドブック	歩く地図「東京」2024	紹介記事	昭和館の案内	2023.2月発行	無料
ガイドブック	千代田さくら祭り公式ガイドMAP	紹介記事	昭和館の紹介 (春の写真展)	2023.3月発行	無料
広報誌	広報千代田	イベント案内	昭和館の紹介 (特別企画展・写真展・資料公開コーナー)	通年	無料
広報誌	道具学会News	イベント案内	昭和館の紹介 (特別企画展・写真展)	通年	無料
広報誌	ハルメキ!千代田	イベント案内	昭和館の紹介 (春の特別企画展)	2023.3.15	無料
広報誌	千代田区ミューズ&シアターマップ (日・英)	紹介記事	昭和館の案内	2023-2024	無料
広報誌	千代田区生涯学習ガイドブック	紹介記事	昭和館の案内	2024年春号	無料
広報誌	DRESS MAKER GAKUIN 会報	イベント案内	昭和館の紹介 (春の特別企画展)	2023夏号	無料
週刊誌	週刊文春	イベント案内	昭和館の紹介 (夏の特別企画展)	2023.7.13号	無料
週刊誌	週刊文春	イベント案内	昭和館の紹介 (夏の特別企画展)	2023.8月特大号	無料
月刊誌	東京人	イベント案内	昭和館の紹介 (春の特別企画展)	2023.5月号	無料
新聞	読売新聞 (シティライフ)	イベント案内	昭和館の紹介 (春の特別企画展)	2023.3.27	無料
新聞	東京新聞 (メトロポリタン+)	イベント案内	昭和館の紹介 (春の特別企画展)	2023.3.29	無料
新聞	朝日新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (春の特別企画展)	2023.4.4、4.26、4.27	無料
新聞	東京新聞 (メトロポリタン+)	イベント案内	昭和館の紹介 (夏の特別企画展)	2023.8.2	無料
新聞	読売新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (夏の特別企画展)	2023.8.3	無料
新聞	毎日新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (夏の特別企画展)	2023.8.8	無料
新聞	朝日新聞 (東京・多摩マリオン)	イベント案内	昭和館の紹介 (夏の特別企画展)	2023.8.9	無料
新聞	朝日新聞 (声)	紹介記事	昭和館の紹介	2023.7.22	無料
新聞	日経新聞	紹介記事	昭和館の紹介	2023.8.20	無料
新聞	日経新聞	紹介記事	昭和館の紹介	2023.10.10	無料
新聞	河北新報	イベント案内	昭和館の紹介 (宮城展)	2023.12.4、12.10	無料
新聞	読売新聞 (宮城版)	イベント案内	昭和館の紹介 (宮城展)	2023.12.19	無料
新聞	奈良新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (奈良展)	2023.6.6、6.15、6.16	無料
新聞	読売新聞 (奈良版)	イベント案内	昭和館の紹介 (奈良展)	2023.6.15、6.17、6.21	無料
新聞	毎日新聞 (奈良版)	イベント案内	昭和館の紹介 (奈良展)	2023.6.15~6.22	無料
新聞	朝日新聞 (奈良版)	イベント案内	昭和館の紹介 (奈良展)	2023.6.20	無料
新聞	ならリビング	イベント案内	昭和館の紹介 (奈良展)	2023.6.2	無料
公共交通	都営地下鉄新宿線 (出口4)	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	東京メトロ東西線九段下駅 (2番ホーム)	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	東京メトロ半蔵門線九段下駅 (3番ホーム)	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	千代田区地域福祉交通「風ぐるま」時刻表	紹介記事	昭和館の案内	2023.5発行	有料
広報誌	千代田さくら祭り公式ガイドMAP	イベント案内	昭和館の紹介 (春の特別企画展・春の写真展)	2024.3発行	有料
教育新聞	日本教育新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (春の特別企画展)	2023.2.13	有料
新聞広告	東京新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (春の特別企画展)	2023.4.8	有料
新聞広告	読売新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (春の特別企画展)	2023.4.21	有料
新聞広告	東京新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (春の写真展)	2023.3.21~3/26	有料
新聞広告	産経新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (春の写真展)	2023.3.24	有料
新聞広告	埼玉新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (春の写真展)	2023.4.6	有料
教育新聞	日本教育新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (夏の特別企画展)	2023.6.5、6.19	有料
新聞広告	東京新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (夏の特別企画展)	2023.7.6、8.2	有料
新聞広告	産経新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (夏の特別企画展)	2023.7.22	有料
新聞広告	デイリースポーツ新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (夏の特別企画展)	2023.8.1~8月7日	有料
新聞広告	毎日新聞	イベント案内	昭和館の紹介 (夏の特別企画展)	2023.8.15	有料

### (5) 昭和館ホームページ

常設展示室の展示替えをはじめ、特別企画展や巡回特別企画展、写真展や資料公開コーナーの展示案内、紙芝居の上演会やオーラルヒストリー特別上映会といった催し物の案内に加えて、次世代の語り部事業についても、定期講話会や語り部派遣など最新の情報発信のため、随時内容更新を行った。

今年度のアクセス件数は、令和6年1月31日（水）現在まで126,170件（1日平均412.3件）であった。

### (6) SNS

エックス（旧ツイッター）やフェイスブック、YouTube等のSNSにおいても、イベントの開催案内やニュースシアターの上映作品、図書室の資料紹介等を発信した。

令和6年1月31日（水）現在のアクセス件数は、以下の通りである。

エックス（旧ツイッター） 閲覧者数	フェイスブック閲覧者数	YouTube視聴回数
184,105	17,093	2,224,871
ポスト（旧ツイート）数	投稿数	
197	187	

## 3 来館促進対策

### (1) 常設展示室の入場無料等について

- ・「昭和の日」令和5年4月29日（土）入場者 359人  
令和4年度入場者 286人
- ・「戦没者を追悼し平和を祈念する日」令和5年8月15日（火）入場者 779人  
令和4年度入場者 639人

### (2) 第22回 昭和館作文コンクール【資料3】

昭和館または巡回特別企画展を見学および、「次世代の語り部」講話を聴く、あるいは昭和館 YouTube でオーラルヒストリー（証言映像）を視聴した小・中学生を対象に実施した。

今年度は、令和6年1月7日（日）消印有効で締め切り、団体応募が9校248作品、個人が15作品（小3～6・中1～3）、計263作品の応募があった。内容の題材は見学が194作品、オーラルヒストリーが41作品、次世代の語り部講話が28作品。

2月中に厚生労働大臣賞・昭和館館長賞などの各賞を選定し、3月上旬に賞状及び賞品の送付、3月下旬にホームページで各賞を発表する予定。

### (3) 第16回 昭和館中学生・高校生ポスターコンクール【資料4】

中学生・高校生の手作りポスターによって多くの人々に昭和館を伝えることを目的にポスターコンクールを実施した。

令和6年1月12日（金）消印有効で締め切り、17校180作品の応募があった。

令和6年2月中に最優秀賞、優秀賞などの各賞を選定し、3月上旬に賞状及び賞品の送付、4月上旬にホームページで各賞を発表する予定。

#### (4) 貸出キットの貸出状況

実物資料、グラフィックパネル、証言映像DVDの貸出キットについて、広報用チラシの配布を行い、来館者及び巡回特別企画展来場者へ周知を図った。

なお、令和5年度の貸出状況は以下の通りである。

(単位:件)

都道府県	小学校	中学校	地方公共団体	その他	合計
北海道		1			1
茨城県			1		1
東京都	1		2	2	5
神奈川県			2	1	3
千葉県	1		1		2
埼玉県			4		4
群馬県			1		1
静岡県				1	1
愛知県				1	1
富山県				2	2
広島県				1	1
徳島県				1	1
長崎県		1			1
合計	2	2	11	9	24

#### (5) 紙芝居定期上演会

昭和館が所蔵する紙芝居を使い、紙芝居師が実演する上演会を奇数月第4土曜日に実施している。

上演日	入場者	演目
令和5年 5月27日(土)	71人	「ハリケンピーちゃん」「吾一つづりかた」
令和5年 7月22日(土)	81人	「ハリケンピーちゃん」「吾一つづりかた」
令和5年 9月23日(土)	47人	「ハリケンピーちゃん」「吾一つづりかた」
令和5年11月25日(土)	68人	「ハリケンピーちゃん」「吾一つづりかた」
令和6年 1月27日(土)	69人	「ハリケンピーちゃん」「吾一つづりかた」

今後の予定

上演日	演目
令和6年 3月23日(土)	「ハリケンピーちゃん」「吾一つづりかた」

#### (6) こども霞ヶ関見学デー

令和5年8月2日(水)～8月3日(木)に開催されることとなり、オンラインプログラム

(実施日：7月1日～8月31日)として昭和館常設展示室紹介動画(前編・後編)へリンクすることで参加協力した。

## 4 展示事業

### (1) 常設展示

長期展示による資料の劣化を避け、より多くの方々の寄贈資料を紹介するため、常設展示室を休室して資料の入替と清掃作業を行った。

- ① 令和5年6月26日(月)から6月28日(水)までの3日間、常設展示室を休室し資料交換作業を実施した。
- ② 令和6年1月5日(木)から1月15日(月)までの11日間、常設展示室を休室し、展示ケース内への演示台設置、「終戦直後の日本」コーナーのモニター改修工事、資料交換作業を実施した。

### (2) 特別企画展

#### ① 「時代をまとう女性たち」

○開催期間

令和5年3月11日(土)～5月7日(日)

○後援

千代田区、千代田区教育委員会

○内 容

「ファッションは時代を映す鏡」という表現があるように、服装は時代の移り変わりと密接な関係にある。昭和の激しい社会変化も例外なく、和装から洋装へ、家庭裁縫から既製服へ、特に女性の服装に大きな影響を与えた。

本展覧会では、昭和の世相とともに移り変わっていった女性の服装について紹介した。

○入場者数

10,409人(200人/1日)(内、令和4年度の入場者数は3,847人)

## ② 「歴史探偵 半藤一利展」

### ○開催期間

令和5年7月15日（土）～9月3日（日）

### ○後援

千代田区、千代田区教育委員会

### ○特別協力

株式会社文藝春秋

### ○内 容

「歴史探偵」と自らを称し、激動の昭和史と正面から向かい合った作家半藤一利氏の遺稿・遺品等の寄贈を受けたことを記念して、関連資料を紹介するとともに、半藤氏の足跡をたどる特別企画展を開催した。

### ○入場者数

11,067人（252人／1日）

開館25周年記念 特別企画展

## ③ 「昭和を駆け抜けた超特急～燕（つばめ）、そして新幹線へ～」【資料5】

### ○開催期間

令和6年3月9日（土）～5月6日（月・祝）

### ○後援

千代田区、千代田区教育委員会

### ○内 容

新幹線が登場する以前、「超特急」と呼ばれた人々の憧れる特急列車があった。その特急列車「燕」は昭和5年10月、東京―神戸間を約9時間で結び、従来の同区間の所要時間を2時間以上も短縮させたことから、当時では画期的な特急列車として活躍した。

本展覧会では、超特急「燕」が誕生した昭和初期から「夢の超特急」新幹線の登場までの軌跡を紹介する。

## （3）巡回特別企画展

### ① 「くらしにみる昭和の時代 奈良展」

### ○開催期間

令和5年6月15日（木）～6月24日（土）

\*19日（月）は休館日

### ○会 場

奈良市美術館 第1展示室

（奈良県奈良市二条大路南一丁目3番1号ミ・ナーラ5階）

○主 催  
昭和館

○協賛・後援等

- ・協 力 一般財団法人奈良県遺族会および日本遺族会第3ブロック
- ・後 援 奈良県 奈良県教育委員会 奈良市 奈良市教育委員会 奈良新聞社 NHK 奈良放送局 奈良テレビ放送

○内 容

戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代に伝えるため、奈良県ゆかりの実物資料・写真資料等を通じて、困難が多かった時代における人々の暮らしを紹介した。

○入場者数

3, 473人 (約386人/1日)

② 昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館 3館合同巡回展  
「くらしにみる昭和の時代 宮城展」

○開催期間

令和5年12月9日(土)～12月19日(火)

○会 場

せんだいメディアテーク 5階ギャラリー3300  
(宮城県仙台市青葉区春日町2-1)

○主 催

昭和館昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館

○協力・後援等

- ・協 力 一般財団法人沖縄県遺族連合会および日本遺族会第5ブロック
- ・後 援 宮城県 宮城県教育委員会 仙台市 仙台市教育委員会 河北新報社 朝日新聞社仙台総局 共同通信社仙台支社 時事通信社仙台支社 毎日新聞仙台支局 読売新聞東北総局 産経新聞仙台支局 NHK仙台放送局 TBC東北放送 仙台放送 ミヤギテレビ KHB東日本放送 エフエム仙台

○内 容

戦後生まれの世代が大多数を占める今、戦中・戦後の労苦について国民への理解を深め、次の世代へ語り継ぐため、東京の3つの国立の施設が合同で展示をおこなった。昭和館は、戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代に伝えるため、宮城県ゆかりの実物資料・写真資料・映像資料等を通じて、困難が多かった時代における人々の暮らしを紹介した。

○入場者数

8, 668人 (約788人/1日)

#### (4) 写真展の開催（2階ひろば）

##### ① 「子どもたちの戦中・戦後」

○開催期間

令和5年3月18日（土）～5月7日（日）

○内 容

時代によって変化する子どもたちのくらしを所蔵写真で紹介した。

○入場者数

11,961人（266人／1日）（内、令和4年度の入場者数は5,160人）

##### ② 「失われゆく昭和の仕事－戦中・戦後の街頭風景－」 【資料6】

○開催期間

令和6年3月12日（火）～6月30日（日）

○内 容

今では見かけることが少なくなった昭和の仕事を紹介する。

## 5 資料収集

### (1) 実物資料の収集

令和5年度は収蔵庫の整理を優先し、資料収集については最小限にとどめているが、資料補修等は従来通り進める。

令和6年1月末日における実物資料点数は、以下の通りである。

	令和5年度収集	累 計
寄贈資料	寄贈1点 除籍1点	46,273点
購入資料	0点	14,646点
厚生労働省資料	0点	3,243点
計	0点	64,162点

### (2) 図書資料の収集

令和5年度は、労働省（現・厚生労働省）婦人少年局が昭和24年～30年代に発行した、調査報告等を中心とした資料群約650点を受け入れた他、写真集や手記、部隊史などに重点を置いて収集に努めた。巡回特別企画展の開催地及び開催予定地、未開催地関連の資料の充実もはかった。閲覧希望が多い少年少女向け雑誌・女性雑誌等の欠号補充は継続して行っている。

令和4年度に受け入れた半藤一利氏の旧蔵資料（約2,000冊）については、半藤氏による書き込みがある資料等は、実物資料として学芸部が管理し、その他の図書、雑誌については図書室で閲覧に供している。令和5年7月には、図書室内（開架）に「半藤文庫」と名付けた書棚を新設し、受け入れた資料の一部を半藤氏の著書とともに紹介している。

令和6年1月末日における図書・雑誌資料の収集は以下の通りである。

	令和4年度収集	累 計
国民生活関係図書	1, 558冊 (997冊寄贈)	73, 785冊
戦争に関する基本図書	309冊 (91冊寄贈)	24, 143冊
独自資料	0冊	35, 980冊
その他基本図書	2冊 (0冊寄贈)	11, 689冊
計	1, 869冊 (1, 088冊寄贈)	145, 597冊

### (3) 映像・音響資料の収集

令和5年度は、善隣高等商業学校（昭和25年廃校）の昭和18年の卒業記念アルバムその他、大阪陸軍幼年学校の生徒の集合写真（昭和19年撮影）や遠足で江の島マリランド（現 新江ノ島水族館）を訪れた鎌倉市立大船小学校の児童の集合写真（昭和32年撮影）などの写真の寄贈を受け入れた。

その他、昭和20年代後半頃に発行されたピクチャーレコードを含むSPレコード26枚および附属歌詞カードの寄贈を受け入れた。

### (4) オーラルヒストリーの制作

戦中・戦後の国民生活上の労苦を伝える事業の一環として、平成16年度から体験者の証言を映像記録として残す事業を進めている。

今年度は東京近郊にお住まいの方7名への聞き取り調査および収録を行った。

## 6 戦中・戦後の労苦を伝える戦後世代の語り部事業

- ① 現在の次世代の語り部は18名。
- ② 毎月第一日曜日に定期講話会を実施し、各回2名の次世代の語り部が講話を行った。その他、学校や自治体等の要請を受け、館内や現地に赴いて講話を行った。  
講話派遣の実施状況は以下のとおりである。

派遣先	派遣件数	参加者数
学校関係	24	1, 772
自治体関係	10	250
その他	5	243
合 計	39	2, 265

(令和6年1月31日現在)

- ③ 昨年度に引き続き、講話の充実と「次世代の語り部」としての知識や意識の向上をはかるため、他施設の伝承者との交流や語り部間の意見交換を行う等、フォローアップ研修を実施した。

- ④ しょうけい館、首都圏中国帰国者支援・交流センターと連携し、三館合同講話会・交流会を実施した。

開催日：令和5年10月15日（日）

参加者数：76名

## 7 情報検索システムの充実

- ① デジタルアーカイブの公開

令和5年4月1日から公開を始めた「昭和館資料デジタルアーカイブ」の令和6年1月末日までのアクセス件数は710,566件であった。

令和6年1月31日現在における昭和館デジタルアーカイブにおける公開データは以下の通りである。

### デジタルアーカイブ

資料種類	令和5年度公開	館内公開データ総数	Web上で公開
実物資料	181件	281件	281件
写真	1,887件	29,813件	7,503件
映像	13件	2,603件	461件
オーラルヒストリー	21件	221件	160件
その他（体験絵画）	0件	247件	52件

### 資料目録検索

資料種類	令和5年度公開	公開データ総数
図書	2,363件	78,722件
雑誌	45タイトル 460件	3,324タイトル 42,132件
地図	0件	2,213件
海図	7件	1,247件
S Pレコード	1,776件	14,436件

- ② 図書・雑誌の装備及びデータ入力

収集した図書・雑誌が閲覧できるようにするため、令和5年度は令和4年度に受け入れた図書・雑誌1,770冊の装備と書誌及び目次データの入力を行った。

## 8 資料公開等

### (1) 映像資料等の提供状況

令和6年1月31日現在における映像音響資料の公開データは以下の通りである。

	令和5年度公開	公開データ総数
写真資料	1,754件	34,474件
映像資料	20件	3,558件
音響資料	490件	14,832件
計	2,264件	52,864件

## (2) 資料公開コーナーの運用

図書情報部では、4階図書室及び5階映像・音響室の利用促進と、収蔵資料にさらに多くの方に関心をもって見ていただくことを目的に、平成19年より1階ロビーにおいて資料公開コーナーを設けている。

令和5年度に実施した内容は以下のとおりである。

実施回	タイトル	期間
第88回	第15回中学生・高校生ポスターコンクール 入賞作品展示	令和5年4月4日(火) ～6月30日(金)
第89回	新収蔵資料紹介 「大野修一撮影写真 復興へ 岐阜・愛知」	令和5年7月1日(土) ～9月30日(土)
第90回	ブギのリズムに乗って	令和5年10月1日(日) ～12月27日(水)
第91回	働くこと・装うこと ～職業制服の歴史～	令和6年1月5日(金) ～3月31日(日)

## (3) 資料の紹介

### ① 昭和館懐かしのニュースシアター

ニュースシアター会場においてニュース映画等を204作品(令和6年1月31日現在)毎日上映した。

ニュースシアターでは、前年度に制作したオーラルヒストリーをニュース映画に続けて上映していたが、初めての来場者が興味を抱くように認知度の高い話者(大村崑氏、半藤一利氏)の作品を積極的に紹介し、来館者促進を図る他、「箱根駅伝100回記念」等の時事的なトピックに関連するニュースについてはSNSで告知した。

### ② 昭和館 Youtube チャンネルでの紹介

米国国立公文書館から入手した映像やオーラルヒストリーは昭和館 YouTube チャンネルでも一部を公開している。令和5年12月31日現在、YouTube で公開している映像・音響室所蔵資料は、米国国立公文書館映像69本、オーラルヒストリー145本である。米国国立公文書館映像の内2本の映像は、視聴回数が100万回を超えている。

参考: 1位「日本の艦船; 擱座(かくざ)、沈没、破壊 記録映像」(109万回)

2位「大竹の日本人引揚者 記録映像」(104万回)

### ③ 図書室での資料紹介

図書室では様々なテーマを設けて図書を紹介している。令和5年度は「大空へのあこがれ～少国民と模型飛行機～」 「展覧会図録から見た昭和～東日本編～」 「箱根駅伝 東京箱根間往復大学駅伝競争第100回大会記念」等をテーマに関連資料を紹介した。

継続企画としては、「あなたの出身地は? 昭和館で見られる47都道府県の資料」と題し、2か月ごとに各都道府県の関連資料の紹介をしている。

また、資料公開コーナーや、平和祈念展示資料館が令和6年2月7日(水)から13日(火)に九段生涯学習館において開催する特別企画「シベリア虜囚の祈り～抑留画家・佐藤清の足跡～」に関連する資料紹介を行う等、館内外との協力、連携をはかった。

④ 映像・音響室での資料紹介

映像・音響室の入口にある大型モニターでは、様々なテーマを設けて映像を紹介しており、資料公開コーナー「ブギのリズムに乗って」に関連した映像等を紹介した。

S Pレコードについては、来館者端末だけでなく試聴機でも随時テーマを設けて音源の紹介をしている。

⑤ 昭和館昭和館S Pレコード鑑賞会

S Pレコード資料を紹介するため、次世代の語り部事業の定期講話会終了後、以下の通りS Pレコード鑑賞会を開催した。

日時：令和5年12月3日（日）

会場：ニュースシアター会場

内容：『東京ブギウギ』をはじめとする戦前・戦中・戦後の楽曲や漫才のS Pレコード6点をアナログ再生。

参加者：40人

#### （4）利用促進

① SNSでの情報発信

エックス（旧ツイッター）やフェイスブックでは、図書室の資料紹介やニュースシアターの上映作品等の情報を発信している。

② ゴールデンウィークイベント

実施期間：令和5年4月29日（土）～5月7日（日）

小・中学生の利用促進し、資料の理解を深めることを目的として実施した。

●図書室「運命の一冊」（参加者：35人）

戦中・戦後のくらしを描いた絵本など、短時間で読める図書を選定し、書名を隠した状態の本を設置しておき、手に取った本を読んでもらう。

●映像・音響室「ワークシート」（参加者：85人）

ワークシートの設問を通して映像・音響室の資料を知り、「戦中・戦後のくらし」を身近に感じてもらう。

③ 夏休みイベント

実施期間：令和5年7月15日（土）～9月3日（日）

小・中学生の利用を促進し、資料の理解を深めることを目的として以下のイベントを実施した。

ワークシートの設問を通して図書室及び映像・音響室の資料を知り、「戦中・戦後のくらし」を身近に感じてもらうことを目的にイベントを実施した。

会期中1, 521枚を配付し、827枚の提出があった。【ワークシート 全8種】

図書室：「学童疎開」「空襲」「戦時下の衣服」「くらしの道具」「動物園と戦争」

映像・音響室：「資料編」「オーラルヒストリー編」

特別企画展関連：「歴史探偵 半藤一利」

## 9 関係施設との連携

### (1) 関係施設等連携会議の開催

関係施設等連携会議（昭和館事務局）を開催するとともに、しょうけい館、平和祈念展示資料館との3館の連携に取り組んだ。

関係機関：厚生労働省社会・援護局援護企画課、  
総務省大臣官房総務課管理室、平和祈念展示資料館、  
しょうけい館、昭和館

第24回会議を令和5年6月2日（金）に開催

第25回会議を令和6年2月2日（金）に開催

### (2) 「夏休み3館めぐりスタンプラリー」

令和5年7月15日（土）～9月3日（日）

共催 平和祈念展示資料館、※しょうけい館は移転のため不参加

参加者 5,153人

### (3) 特別展示「シベリア虜囚の祈り 抑留画家 佐藤清の足跡」を開催

令和6年2月7日（水）～2月13日（火）

主催 平和祈念展示資料館

協力 昭和館、しょうけい館

場所 九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー

### (4) 巡回特別企画展の相互協力

宮城県仙台市において昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館3館合同巡回展を実施した。

令和5年12月9日（土）～12月19日（火）

## 10 昭和館運営専門委員会の開催

昭和館運営事業について有識者から様々な意見を聴取するため、以下のとおり、昭和館主催の昭和館運営専門委員会を開催した。

第1回運営専門委員会開催

令和5年6月21日（水）に開催

第2回運営専門委員会開催

令和6年2月16日（金）に開催

## 11 アンケート結果 （令和5年4月1日～令和5年12月27日現在）

昭和館のアンケート調査は、平成11年7月から実施し、広報活動、各種企画展、常設展示室の改善の他、顧客満足度アップのため実施している。1階 ニュースシアター、4階 図書室、5階 映像・音響室、6階 常設展示室においてアンケートを設置している。

さらに春・夏に開催する特別企画展及び紙芝居についてのアンケートも実施することとしている。

**昭和館について（特別企画展含・紙芝居除く）**

○回収枚数 1,594枚（うち特別企画展 832枚）

**アンケート概要**

○昭和館をどのようにして知ったか（複数回答・特別企画展含）

通りかかって	当館HP・SNS	友人・知人	昭和館だより (DM含む)	新聞・TV・ラジオ	駅看板	その他
23.1%	14.2%	13.7%	10.5%	9.9%	8.5%	20.1%

○利用回数（常設展示室のみ）

1回	2回	3回	4回以上	未回答
80%	11.9%	3.3%	4.5%	0.3%

○展示内容（常設展示室のみ）

良い	普通	わかりにくい	未回答
88%	11%	0.7%	0.3%

○性別（特別企画展含む）

男性	女性	未回答
49%	50%	1%

○年齢別（特別企画展含む）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
23.5%	8.5%	5.4%	9.7%	16.1%	16.6%	13%	5.6%	1.6%

○住所（常設展示室・特別企画展のみ）

東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他	未回答
59.1%	8.5%	8.8%	9.9%	10.9%	2.8%

○展示を見て「戦中・戦後」の理解が深まったか（常設展示室のみ）

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
59.4%	36%	4.1%	0.2%	0.3%

**春の特別企画展（時代をまとう女性たち）について**

○回収枚数 428枚

**アンケート概要**

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未回答
58.4%	11%	5.6%	24.8%	0.2%

○展示内容について

大変良い	良い	普通	つまらない	未回答
53.7%	38.8%	6.8%	0%	0.7%

○「昭和の女性のファッション」についての理解が深まったか

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
37.2%	57.2%	4%	0.9%	0.7%

○展示品の数について

多い	丁度良い	少ない	未回答
3.3%	72.2%	23.6%	0.9%

**【主な意見（春の特別企画展）】**

- ・ちょうどよいボリューム。無料の展示会としてはもったいない内容でとても良かった。（複数意見）
- ・戦前から戦後の服は写真では見た事はあったが、実際に本物を見る事ができてとても良かった。特にスフの実物が見られたのが個人的に大きな収穫だった。（大学生・女性）
- ・社会の変化を女性の服装の変化でみるというテーマがおもしろく、今まで持っていたイメージが必ず

しも現実に則したものではない事を学んだ。モダンガールが1%程しかいなかった事や、男性の国民服に対応するような服を作ろうとした試みがあった事にも驚いた。(大学生・女性)

・常設展示室と併せて見ると学びが深まるように感じた。初めて来館したが、とても満足した。洋装は着物を一度ほどいて制作されていると知り、戦時中の大変さを感じた。(大学生・女性)

・終戦後、わりと間もない頃に服飾関連の雑誌が出ていた事に驚いた。当時はまだ食べていくのも十分ではなかったはずだが、女性の「おしゃれ」に対する欲求はどんな状況下でも消える事はないのだと思った。また、展示されていたワンピースも今見てもかわいいと思えるものだったのも驚いた。流行は移り変わっても変わらない根底の部分があるのだと思った。(20代・女性)

・入口のビデオ、着物の絵本から引き込まれ、非常に充実していた展覧となった。説明ボード、紙の資料、服の資料がバランスよく配置されスムーズだった。非常に興味深かった。特に戦後の女医さんの手記と聖心女子大の学生の数え歌はおもしろかった。個人資料のおもしろさに気づけた気がした。

(20代・女性)

・戦前の女性という「モンペ姿」のイメージが強かったが、時局によって変えさせられていった事がよくわかった。袖や裾を切り、詰めていくなどの苦心が感じられた。戦後、文化服飾学院の入学願書の行列の写真には当時の女性たちのパワーを感じ圧倒され何か勇気づけられた感じもした。

(40代・女性)

・昭和の暮らしのうち、1つのテーマに絞り掘り下げていたのが良かった。(40代・女性)

・金属の供出は知っていたが、綿の供出は初めて知った。綿が火薬の原料になるとは知らなかった。男性から見ても楽しかった。(40代・男性)

・衣装の展示が良かった。当時の人の体格の程がよくわかった。(40代・男性)

・美しい衣装の歴史を中心に和服や着付け、洋服による工芸的な作品が珍しく気に入った。

(50代・男性)

・パネル写真はその当時の雰囲気が伝わって良かった。(50代・女性)

・市井の女性ファッションに寄り添う展示なのが良かった。(50代・女性)

・戦前から戦後の世の中の動きとともに女性の服装が変化していった事が時代を追って理解できる展示構成となっていてひとつひとつ展示を見ていく事で自然と頭に入り、なかなか興味深い内容だったと思う。(50代・男性)

・とても興味深い内容だった。戦時下という視点で、華やかだけでない展示がファッションの展示としては新しいなと思った。(50代・女性)

・女性のファッションの移り変わりがよくわかった。物資がなくなる戦争は国民が一番ひどい目にあう事がよくわかる。(60代・男性)

・スペースが狭くても丁寧に企画すればかなり理解が深まる展示ができるのだと感心した。いつの時代も制約の中でおしゃれを楽しもうとするものだったと思った。(60代・女性)

・文化服飾学院分校(福岡県)の夜間校に仕事の傍ら通った頃を思い出した。年齢を重ねてもおしゃれには関心があり、先人たちの様々な努力があって現在のファッションの発展がある事に改めて感謝。

(70代・女性)

・戦時中、「ゼイタクハテキダ」「ホシガリマセンカツマデハ」の規制下で女性たちはおしゃれもできず大変苦労した事でしょう。正田美智子さんのミッチーブームが起きた事を懐かしく思い出した。

(80代・男性)

## 夏の特別企画展（歴史探偵 半藤一利展）について

○回収枚数 404 枚

## アンケート概要

## ○利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未回答
58.9%	11.9%	4.9%	23.3%	1%

## ○展示内容について

大変良い	良い	普通	つまらない	未回答
64.9%	29.7%	4.2%	0.5%	0.7%

## ○「戦中・戦後の暮らし」の理解が深まったか

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
49.7%	45.3%	3.5%	0.5%	1%

## ○展示品の数について

多い	丁度良い	少ない	未回答
4.5%	81.9%	12.4%	1.2%

## 【主な意見（夏の特別企画展）】

- ・貴重な資料が手際よく並べられていて、半藤氏の実績がよくわかった。良い企画だと思う。  
（複数意見）
- ・大変良い内容だった。今回見られて良かった。また定期的に展示される事を願います。（複数意見）
- ・書齋展示が大変良かった。（複数意見）
- ・半藤氏の戦争体験世代としての平和への思いが伝わった。（20代・男性）
- ・一個人をテーマにした企画展は昭和館では珍しい。半藤氏の本はまだ読んでいないものも多いのでこれを機に読もうと思う。（40代・男性）
- ・思っていた以上に来館者が多く、平和を願う人が多い事に心強い気持ちになった。読んでみたい本が多数見つかった。来て良かった。（40代・女性）
- ・NHKの戦争ドキュメントの再放送を見て興味を持ち来館。たくさんの人に見てもらいたい展示だった。（50代・男性）
- ・隅田川の版画はとてもおもしろかった。定点写真みたいで良かった。（50代・女性）
- ・半藤氏の著書は既読が多く、また映画も鑑賞しEテレで特集番組も拝見し、ある程度理解しているつもりであったが、これだけの気骨とあらゆる知識を持ったすごい人物であるという事、また今後はこのような人物は現れないであろうという事をひしひしと感じた。（50代・男性）
- ・直筆の原稿やご本人が使った机など、書籍でしか触れた事のない半藤さんと近くなれた思い。改めて本の読みなおしをしたいと思った。（50代・男性）
- ・昭和史で有名だが版画の巧みに驚いた。下町の少年が幸運にも生き延びて、「日本のいちばん長い日」を書いたのが36歳の若さとは。新しい戦前にならないよう著作を見直したい。（60代・女性）
- ・半藤さんが「昭和の語り部」になったのが良くわかった。絵や版画も多く描かれていたのが意外。上手で驚いた。（50代・女性）
- ・昭和史の概要を学ばせてもらった。半藤氏の偉大な貢献に驚愕するとともにこのような肉筆・肉声が残っていてそれを共有する事ができてありがたく思う。このような企画が無料で開催されている事に感謝。（50代・女性）
- ・資料がまとまっていて見やすかった。昭和の語り部としての半藤氏の「絶対という言葉は使わな

い」。一番共感を覚える。(60代・男性)

- ・昭和史について大変詳しい人くらいにしか認識がなかったが、とんでもない偉大な方なのだと驚いた。著書も大変多く驚いた。愛用の机と椅子が展示されていて触れると半藤氏を少しだけ感じる事ができた。半藤氏のビデオも良かった。凄い記憶力。大変勉強になった。(60代・女性)
- ・昭和史の語り部として半藤氏の業績には深く敬意を表したい。戦争の記憶が薄れる中で真実を追求する姿勢がいかに重要な事か深く浸透する思いです。(60代・男性)
- ・半藤氏の生涯について簡潔にわかりやすくまとめて展示されていると思う。また、自筆原稿や取材ノートなどの展示から改めて緻密な取材に基づいて執筆されていたのだなと実感した。事実に基づくからこそ説得力もあり読み手に訴えかける作品になるのだと思う。まだ読んでいない作品もあるので少しずつ読んでいこうと思う。(60代・女性)
- ・半藤氏という作家個人に焦点を当てる事で、かの大戦前後の歴史を思わぬ角度から描いた好企画だと思った。(60代・男性)
- ・半藤氏の多くの著作を読んでいたのに、半藤氏の一生について知っているつもりだったが、まだまだ知らない部分が多く、年表・写真を通じて知ることができて嬉しい。(60代・男性)
- ・半藤氏の名前は知っていたがあまり興味がなかった。著書も何冊かは読んではいったが記憶にも残っていなかった。しかしこの企画展をきっかけにもっと本を読んでみたい。(70代・男性)
- ・改めて、半藤一利が昭和史に探求の鋭い目を向けて事実を残し、形にしようとしていたその熱量たるや、とてもすごいものだったと思った。(70代・男性)
- ・多くの書物を残している事に驚いた。今後も作品を読んでいきたいと思った。小学生が校外学習で見学していて元気がでた。「教育こそすべて」軍国少年少女を育んではならない。(70代・女性)
- ・半藤さんの大ファンとして企画展を見る事ができて大満足。特に文春時代以降の資料・写真は初めて見るものばかりで嬉しく思った。また展示解説はとてもわかりやすく、詳しく貴重な話を聴く事ができた。ぜひ、数年後に再展示会を望む。(70代・男性)
- ・大変素晴らしい。山梨県から来たかいがあった。半藤さんの人となりや日常の姿が見える良い企画だった。(70代・男性)
- ・非常に良かった。正しく歴史を学ぶ事が一番大切であると痛切に感じた。(80代・男性)
- ・大事な事を孫に伝えたくて、娘と孫と来館。とても良かった。(80代・女性)
- ・大事な事は自分自身の知見を磨いていく事、そして時流をしっかりと見定めていく事と思う。その支えとなっているのが半藤さんの歴史探偵の視点。初めて遺品を見て視点の大事さを再認識した。できればこの企画展を全国的に開催して欲しいと願っている。(80代・男性)
- ・半藤氏の作品はほとんど読んでいたが改めてこの企画展で理解を深めた。半藤氏のVTRも良かった。今の日本ではもう語れる人が少なくなっている。昭和館がより一層の存在価値が上がると思う。昭和は古くない。今一度戦争を語る必要がある。(80代・男性)

## 常設展示室について

○回収枚数 539 枚

### アンケート概要

#### ○利用回数

1回	2回	3回	4回以上	未回答
80%	11.9%	3.3%	4.4%	0.4%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未回答
88%	10.9%	0.7%	0.4%

○「戦中・戦後の暮らし」の理解が深まったか

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった	未回答
59.3%	36%	4.1%	0.2%	0.4%

○展示アプリガイドについて

わかりやすい	普通	わかりにくい	未回答（未使用含む）
28.7%	11.7%	1.9%	57.7%

【主な意見】

- ・実物資料がいろいろあって良かった。この史代さんのイラストも良かった。（複数意見）
- ・戦前、戦後の事をよく知れて良かった。戦争なんてメリットが1つもないのに何故やるのだろう。  
（小学生・女性）
- ・普段の生活では知る事のできない戦時中や昭和の生活について知る事ができとても興味深かった。  
（中学生・女性）
- ・作文など当時の人たちの文章からいろいろな事を感じた。（中学生・女性）
- ・内容が明瞭ではっきりしていた。戦時中の人々の暮らしに対する理解が深まった。（高校生・男性）
- ・時代の流れを視覚的・聴覚的に楽しむ事ができて良かった。（大学生・女性）
- ・手書きの資料が多く参考になる。また来ます。（大学生・女性）
- ・疎開先の子供が書いた手紙や、戦地から家族に向けて書いた手紙が印象に残った。当時の人々の思いや暮らしが良くわかる展示だった。またゆっくり見に来たいと思う。（大学生・女性）
- ・戦争関連の展示となるとどうしても暗く重いイメージがあるが、ここの展示は全て見る事ができた。特別展示の「帽子が着飾る昭和」は特に面白かった。（大学生・女性）
- ・10年ぶり（小学生以来）に訪れた。いろいろと学びの多い施設だと思う。（20代・男性）
- ・何度も来館しているが、今回初めてガイドアプリを使用した。使い勝手がよく展示脇の説明文より深く説明していて勉強になった。（20代・男性）
- ・体験できたり、道具の使い方がわかったり、とても勉強になった。（20代・女性）
- ・戦争について知っているつもりでいただけで知らない事ばかりだった。このような施設がある事を忘れてはいけない。過去を忘れずにいられる事は有難いと感じる。（20代・女性）
- ・戦前から戦中の展示量を増やして、世の中の何が変化したのか深く知りたと思った。  
（30代・男性）
- ・わずか数年の間に普通の生活から戦争に至り、そして4～5年の凄まじい期間のあとに復興に向かっていく歴史のすごさを感じた。今の日本人にこれができるのだろうか。（30代・男性）
- ・防空壕の体験展示は本当に戦争の悲惨さが伝わってくる。（30代・女性）
- ・戦後の暮らしについて知りたくて来館。資料が豊富で大変わかりやすかった。（30代・女性）
- ・母と共に見たら、ひとりで来た時と違った学習になった。（30代・男性）
- ・映画「あの花の咲く丘で君とまた出会えたら」の影響で娘に行きたいと言われ来館した。若い人にはとてもよい勉強になったと思う。（40代・女性）
- ・大変興味深く勉強になった。戦争がより身近に感じられる昨今、意義のある展示だと思う。  
（40代・男性）

- ・展示されている小学生の作文に涙してしまった。都内にいるにも関わらず来館した事がなかったが、また来たいと思う。(40代・女性)
- ・以前より綺麗になっていて展示も見やすくオシャレだと感じた。若年層にもたくさん見てもらいたい。(40代・女性)
- ・知るべき内容が展示されていて、日本人なら見ておくべきだと思う。(40代・男性)
- ・戦争を起ささないためにはどうしたらよいか。もっと考えなければいけないと思った。(40代・女性)
- ・子供(小1、小2)と来館。過去の過ちを忘れないよう教育していきたいと思う。(40代・男性)
- ・戦前～戦後の日本の状況について理解が深まった。市井の人々の暮らしが具体的にわかって良かった。(50代・女性)
- ・玉音放送を初めて最後まで聴く事ができてよかった。(50代・男性)
- ・99歳の父と来館。懐かしそうに見ていた。(50代・女性)
- ・戦争経験者が少なくなっていく中で、この施設の意義は大きくなっていくと思う。(50代・女性)
- ・戦争を後世に伝える貴重な資料がたくさんあり勉強になった。今度は息子を連れて来たい。(50代・男性)
- ・前は時間が足りず消化不良気味だったので再訪。遊就館と併せて見学すると感銘もさらに増す。(60代・男性)
- ・子供でも理解しやすい展示内容で良かった。家族の食卓のイラストはよく見ると奥が深い。(60代・男性)
- ・とてもわかりやすく展示されていると思う。今の子供達に見せて戦争の事を理解して欲しい。(70代・女性)
- ・昭和館の存在を知ったのは昨日です。もっと早く知っていればと思った。(70代・男性)

**ニュースシアターについて (複数回答)**

○回収枚数 41枚

**アンケート概要**

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上
48.8%	4.9%	43.9%	2.4%

○上映時間

普通	長い	短い	未回答
80.5%	14.6%	0%	4.9%

○上映本数

普通	多い	少ない	未回答
63.5%	2.4%	2.4%	31.7%

○上映希望年代 (複数回答)

昭和10年代	昭和20年代	昭和30年代	未回答
23.6%	30.9%	23.6%	21.9%

○上映希望映像 (複数回答)

事件	文化	スポーツ	その他	未回答
28.8%	27.1%	11.9%	18.6%	13.6%

【主な意見】

- ・仲代達矢の体験談、とても良かった。（複数意見）
- ・すべてのニュース映像に字幕を入れて欲しい。（80代・男性）

図書室について（複数回答）

○回収枚数 68枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上
73.6%	8.8%	4.4%	13.2%

○主な目的（複数回答）

本・雑誌を読む	レポート・論文	出版等の調査	個人の趣味・研究	その他	未回答
47.3%	8.3%	1.4%	33.3%	9.7%	0%

○書籍、雑誌の量

適当	少ない	未回答
85.3%	10.3%	4.4%

【主な意見】

- ・昭和の生活（春夏秋冬それぞれの違いがわかる資料）が見たい。昭和の子供とお店屋さんの本に見入ってしまった。（30代・男性）
- ・論文作成のため来館。司書が親身になって相談にのってくれ、テーマに沿った書籍を多数探してくれた。本当にありがたかった。（40代・女性）
- ・以前来た時と比べ資料が充実しているのに感激した。（70代・男性）

音響・映像室について

○回収枚数 114枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上
92.1%	4.4%	0.9%	2.6%

○利用した資料（複数回答）

写真	進駐軍が撮影した資料	ニュース映画	アニメーション	SPレコード	未回答
49.7%	13.2%	12.4%	13.2%	10.7%	0.8%

○情報検索システム

使いやすい	普通	使いにくい	未回答
64.9%	32.5%	2.6%	0%

【主な意見】

- ・いろんな曲や昔の映像を見ていろいろ知れて良かった。（小学生・男性）
- ・自分の知らない事がたくさんあった。次回は当時の状況がわかる資料を見たいと思う。（中学生・女性）
- ・朝ドラ「ブギウギ」関連の曲を聴きに来た。「ブギ」にもいろんな種類がある事を初めて知った。（大学生・女性）
- ・アーカイブの質と量に感動した。（30代・男性）
- ・たくさん見てみたい映像があった。また来ます。（40代・女性）
- ・たくさん音源はあるが映像もあればもっと良かった。（50代・女性）

- ・ 普段見たり聞いたりする機会のない昔のニュースやレコードを体験できて良かった。(50代・女性)
- ・ 展示室を見学してからオーラルを見るとより理解が深まった。(60代・男性)
- ・ 戦前、戦中、戦後のニュース映像を見た。たくさんの資料があり、学生・教師の勉強に場になる。(60代・男性)
- ・ 歌舞伎の歌右衛門のファン。視聴機で幼少期に見た歌右衛門の声が聴けて感動した。(70代・女性)

## 紙芝居 (全4回)

○回収枚数 112枚

### アンケート概要

○紙芝居をどのようにして知ったのか

通りかかって	昭和館HP	友人・知人	その他	未回答
68.9%	6.9%	4.3%	19%	0.9%

○見学回数

初めて	2回目	3回目	4回目	未回答
92%	2.7%	2.7%	1.8%	0.8%

○紙芝居の内容

大変良い	良い	普通	つまらない	未回答
53.5%	34%	5.4%	0%	7.1%

○性別

男性	女性	未回答
44.6%	50.9%	4.5%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
2.7%	9.8%	6.2%	13.4%	30.4%	21.4%	8.9%	1.8%	5.4%

○住所

東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他
57.2%	6.2%	8%	10.7%	17.9%

### 【主な意見】

- ・ 続きが知りたくなるような内容で良かった。昭和の街頭紙芝居が今後も継承されたら嬉しい。(中学生・女性)
- ・ 楽しかった。もっと早く知りたかった。貴重な体験をありがとう。(20代・男性)
- ・ 太鼓と紙芝居の箱をたたく音と声で物語に引き込まれた。物語の脈絡が突飛で笑った。(20代・女性)
- ・ とても面白かった。ヒストリー等も解説してわかりやすく続きが見たくなった。放課後デイサービスの仕事で読み聞かせをしているので大変参考になった。(40代・女性)
- ・ 紙芝居から週刊誌や漫画に繋がっている。とても参考になった。(40代・男性)
- ・ 人の声の温かさが伝わる。癒された。続けて行って欲しい。(50代・女性)
- ・ 初めて実演を見たが、大変おもしろかった。昭和の貴重な文化を今後も残す取り組みを願っている。(50代・男性)
- ・ 3歳の息子がとても楽しんで見ていた。昔の雰囲気はわかって面白かった。(50代・男性)
- ・ 昭和館には何度も来ているが、紙芝居は初めて見た。意外におもしろかった。(50代・女性)
- ・ 本物の紙芝居を初めて見た。近くに住む子供に教えてあげたいと思う。(60代・女性)

## 巡回特別企画展について

◎奈良展 令和5年6月15日(木)～6月24日(土) ○回収枚数 364枚

### アンケート概要

○展示会をどのようにして知ったか

通りかかって	遺族会	他の博物館	新聞・テレビ・ラジオ	友人・知人	広報誌	その他
12%	11%	6%	28%	16%	8%	19%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未回答
89.3%	9.3%	0.6%	0.8%

○性別

男性	女性	未回答
59.3%	39.6%	1.1%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
2.7%	2.5%	3.3%	7.1%	12.6%	23.4%	32.5%	14.8%	1.1%

○住所

奈良市内	生駒市	宇陀市	橿原市	大和郡山市	天理市	その他
66.2%	3.6%	2.5%	1.9%	3.8%	1.6%	20.4%

### 【主な意見】

- ・今昔の移り変わりがよくわかった。今が豊かで恵まれている事も理解できた。(複数意見)
- ・奈良市内、特に駅付近の昔と今の違いがよくわかった。とても良い展示で感動した。(複数意見)
- ・昔の記憶が蘇った。戦時中の苦しい様子もよく分かり、二度と戦争が起こらないようにと思う。こうした展示会が時々開催されるようお願いしたい。(複数意見)
- ・戦争中、どのようにして生きていたのか、戦後どのように今の活気ある奈良に変わっていったのかが良くわかった。この事を忘れない。(小学生・男性)
- ・映像コーナーの辻本さんの話に涙を流してしまった。自分だったら耐えられないと思う。テレビでよく戦争の話をしているのを見るが、難しく理解できなかったが、今回を機に自分から理解しようとする姿勢で戦争についてもっと知らなければいけないと思った。(高校生・女性)
- ・昭和の写真に興味あったので見に来た。予想以上の内容と枚数に驚いた。(高校生・男性)
- ・ビデオ映像で遺族の思いなどが聞けて良かった。(20代・女性)
- ・奈良にも戦争があったという事を写真を通じて詳しく知る事ができた。特設展では普段見ている景色の面影を感じる事ができた。(20代・女性)
- ・ポスターが大変興味深かった。もう少し大規模な展示会にして欲しい。(40代・男性)
- ・よく知っている街が昭和の頃どんなふうであったかを初めて知り、とても興味深かった。また戦時中の暮らしや様子も写真や展示物から知り想像する事ができた。こうやって当時の事を知らない世代に伝えていく事はとても大事で必要だと思う。(40代・女性)
- ・市民が撮った写真や残っていた物など、このように集めて広く紹介する事で忘れてはならない「記憶」を引き継ぐ、本当に良いやり方だと感銘した。(50代・女性)

- ・奈良で過ごした時代の写真が多く、懐かしく思い出した。素晴らしい展示の数々を感謝します。会期が短く多くの知人が来られず残念。またの開催を期待します。(60代・女性)
- ・過去があって現在がある事を改めて実感できた。貴重な資料を大切に保存している事に感謝したい。今後も語り継いで欲しい。(60代・女性)
- ・非常に良い展示だと思う。常設展示でも良いくらい。展示期間をもっと長くしてもよいのでは。(60代・男性)
- ・大変懐かしく涙が出そうになった。もっと宣伝しても良かったのではないかと。亡き父母や祖母に無性に会いたくなった。(60代・女性)
- ・1945年中日ドラゴンズの春日野キャンプの写真に小学5年生の自分が写っていて当時を思い出して懐かしく感じるひと時だった。(70代・男性)
- ・昔のJR・近鉄奈良駅の様子がよく分かり感動した。人々の生活もよくわかり参考になった。(70代・女性)
- ・写真の多さ、説明文も的確で大変良かった。長嶋、杉浦の野球ポスターは貴重品。鉄道写真も良かった。(70代・男性)
- ・懐かしい頃の事が写真を通してよみがえってきた。駅や路面を近鉄電車が走っていた頃の事、進駐軍のジープが走っていた事。あれからずいぶん発展した。写真もあれだけサイズが大きいとはっきり鮮明に見え感動した。(70代・女性)
- ・特別な行事や特別な人ではなく、普通の人々の生活の一部を見せてもらえて非常に興味深かった。他の地域の戦前～戦後の生活も見たい。(70代・男性)
- ・何度も開催して欲しい。子供や孫にも見せたい。(80代・男性)
- ・戦時中の写真を見て、当時の苦しかった生活や戦災で焼け出され逃げ惑った事などが思い出され、現在の平和のありがたさを再確認した。(80代・男性)

◎宮城展 令和5年12月9日(土)～12月19日(火)

○回収枚数 739枚

アンケート概要

○展示会をどのようにして知ったか

河北新報 折込広告・新聞記事	チラシ・ ポスターを見て	新聞・TV・ ラジオ	学校	遺族会	その他
34.4%	20.5%	9.6%	7.9%	5.2%	22.4%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未回答
78.3%	20.3%	0.7%	0.7%

○性別

男性	女性	未回答
54.1%	44.1%	1.8%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答
8.1%	3.5%	4.9%	11.5%	14.3%	17.5%	25.8%	12.7%	1.7%

○住所

仙台市 青葉区	仙台市 宮城野区	仙台市 泉区	仙台市 太白区	宮城県内	その他	未回答
13%	4.9%	4.7%	4.3%	22.5%	7.3%	43.3%

【主な意見】

- ・ 3館の存在を初めて知った。若い人達にも伝えて欲しいと思った。(複数意見)
- ・ 戦争の記憶を忘れてはいけない。次の世代へと語り継がないといけないと思った。(複数意見)
- ・ 昭和の時代にはこんな事があったのだと改めてわかった。(小学生・男性)
- ・ 昭和には悪いイメージがあったけど、復興などいい面も知れた。(小学生・男性)
- ・ 実際に着ていた服や、その当時の写真があって分かりやすかった。(中学生・女性)
- ・ 戦争を経験していない世代として知らなければならない事、学ばなければいけない事をたくさん感じる事ができた素晴らしい展示だった。同世代にも見て欲しいものばかりだった。(高校生・男性)
- ・ 仙台で日本の戦争について貴重な資料や展示を見る事ができ、とても良かった。3つの施設の展示によって戦争に対する理解ができた。(大学生・男性)
- ・ たすきに書かれた武運長久の文字などから当時の人々の出征する人達への思いが垣間見えた。(高校生・男性)
- ・ 日章旗の寄せ書きなどを見て、自分の住んでいる土地で過去に戦争に行った人が多くいる事が実感できた。(高校生・男性)
- ・ 宮城県が戦中、どのような様子だったのか知れて良かった。(大学生・女性)
- ・ とても良い企画展だった。戦争はいかによくないかを知れた。これからもこういった企画展があると嬉しい。(大学生・女性)
- ・ 絵や写真が多く、その時代のリアルを知る事ができる良い展示だと思った。(大学生・女性)
- ・ 身近な宮城の写真や展示を見る事でどのように発展したかを感じる事ができた。(20代・男性)
- ・ 戦後→高度経済成長期があつての今。今がどれだけ平和で豊かな生活ができているのかが実感できた。(30代・女性)
- ・ 展示内容が充実していた。キャプションに地名が書いてあったので現在の場所がイメージしやすく良かった。(30代・女性)
- ・ 写真を見ることで視覚的に理解できた。(40代・女性)
- ・ 実物資料などを実際に見ることで身近な歴史として感じる事ができた。(40代・女性)
- ・ 普段暮らしている地元がどのような歴史をたどってきたのかを知る事ができて良かった。(40代・女性)
- ・ 戦争は過去ではなく現在進行形のものと日々の報道を通じて感じている。今一度、一人でも多くの人が戦争を自分事として捉え、平和な社会を維持する方向について考えて欲しい。(40代・女性)
- ・ 3館が東京にあるのは知っていたが行った事はなかった。行ってみたいと思った。(40代・女性)
- ・ これまではテレビ見たり話をするだけだったので、子供達に資料や展示を見せる事ができて良かった。(40代・女性)
- ・ これからの子供達にも戦争の事実を1つでも多く伝えていきたいと思った。(40代・女性)
- ・ 戦時中の資料がわかりやすく、当時の光景が思い浮かんだ。(40代・男性)
- ・ ニュートラルな視点で昭和の歴史を伝えているのがよい。(50代・男性)
- ・ 戦後78年が経過し、戦争への意識が薄れてしまっている。戦争の悲惨さや平和の大切さを感じられる展示会だった。(50代・女性)
- ・ 平和の大切さを再認識した。過去の出来事ではなく、語り継いでいかなければいけない出来事だと思った。(50代・男性)
- ・ このような啓蒙活動は今後も継続して欲しい。(50代・男性)
- ・ 戦争前後の様々な写真・資料はこれまでテレビやドラマでも目にする事のなかった物が多くて驚い

た。空襲前後の仙台市の全容の写真、引揚戦災孤児の親探し、引取者探しのポスターなどが見られて良かった。(60代・女性)

- ・仙台の今の風景からは想像できない戦後のパネルが印象的。(60代・女性)
- ・戦時下の庶民の苦労の様子がよくわかり大変勉強になった。(60代・男性)
- ・大変貴重で戦争の悲惨さを伝える良い企画展だった。忙しい師走時期の開催だったのが残念。学校の長期休み期間などで再度開催して欲しい。(60代・女性)
- ・戦争を実際に知る人は年々少なくなり、戦争でおきる事を知るにはDVDや展示物しかない。この展示会で多くの事を学べた。東京以外に住んでいるとなかなか知る機会がないので巡回展をもっと増やして欲しい。(60代・男性)
- ・地元でこれだけの戦争関連の貴重な展示物に触れる事ができて有難い。(60代・男性)
- ・実際の体験者の話(映像)と手紙・ハガキが心に訴えかけてきた。(70代・男性)
- ・記録保存の大切さを改めて考えさせられた。(70代・女性)
- ・日本国民として当時の歴史を語り、引き継ぐ事も大切だと思った。(70代・男性)
- ・私の生きてきた時代です。思い出すことがたくさんあった。(80代・女性)
- ・昭和館まで行く事ができないので仙台で開催してくれて良かった。(80代・女性)
- ・団体で来たため時間の制約がありゆっくり見学できなかったのも1人でまた来ます。(80代・男性)
- ・すべての人に見て欲しい。見せるべきだと思う。(80代・女性)